

2. 行政職員ヒアリング

町が実施した行政職員ヒアリングを基に検証。職員の災害対応における問題意識や応援受援の実態、自らも被災者でありながら対応を行わなければいけない葛藤、この災害を契機に意識・考え方が変わった様子、次の災害への備えの決意等が明確になりました。



災害対策本部での朝会議



水道調査の様子

3. 関連組織ヒアリング

災害対応において、安平町のパートナーとして、共助力を発揮した組織に対して行ったヒアリングを基に検証されました。

- 1) 町内会・自治会：地域ので、避難所の自主運営を行った。
- 2) JA：農業・畜産業への対応、特に停電・断水による対応に組織的に取り組んだ。
- 3) 建設協会：復旧事業に対して力を尽くし貢献した。
- 4) 社会福祉協議会：高齢者の安否確認について地域・社協・行政と共に実施した。
- 5) 商工会：災害の影響が出る中で、消費が冷えこみ対応に苦慮した。



避難所の様子
(町民センター)



ボランティアセンター受付

4. 中学生ヒアリング

平成30年北海道胆振東部地震時に小学生であった対象者に対し、災害後の様子、まちの将来像への期待、復興への取り組みについて自由記述調査を行い、その結果を基に検証を行いました。災害直後は不安をかかえながらも、自衛隊等の支援者に感謝し、日常のありがたみを知った様子が明らかとなりました。明るく、安全なまちになってほしいとの期待や、復興の様子や支援への感謝を形にして町内外に発信したいという強い思いがあることが分かりました。



あそびのひろば